

市民のひろば

市民のチカラ

～市民団体とその活動を紹介～

VOL.03 NPO鹿沼協会

設立：平成14年
代表：町田 英俊さん

市内のNPOが参加する互助組織。情報交換や意見・要望の集約等を行っています。



▲代表者・町田さん

現在市内のNPO・12団体が加入する「NPO鹿沼協会」は、会員同士の互助組織として、情報交換や、各団体の意見や要望を集約し支援につなげる活動などを行っています。



ボランティアや、文化・福祉などさまざまな市民活動を展開するNPO。協会は、分野が異なるそれらの団体を結び付ける役目を担っています。これま

で学習会や懇親会などを通じて、非営利組織として共通する課題や、NPOに関する最新動向について率直に話し合う場を提供してきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、メンバーが集まる活動が難しい現在は、SNS等を活用し、各団体が実施するイベント情報の共有や発信にも努めています。



ぶんげい

名前（ふりがな）・住所を明記し、はがき・メールでご応募ください。締切は毎月20日(到着分)です。
〒322-8601 今宮町1-68-8-1
メール koho@city.kanuma.lg.jp
広報広聴係(応募部門を明記)

市民俳壇

いま正に妣との別れ春北風

布川 武男選

はらからの話は尽きず餅を焼く

栄町一丁目 中荒井弘美

福達磨十色願う夢十色

万 町 海原ゆう子

初明り峯を清めて神住めり

石橋町 宇賀神タカ子

空真青一二三四福寿草

引 田 斎藤 良明

となりまで飛ばす北風屋根トタン

板 荷 小池矢佐伊

寒苺もらいて心温まる

下材木町 中島 成子

日だまりの老の一日は価千金

戸張町 柿沼しげ子

市民歌壇

長らえて多くの人に見守られ下手な歌詠み好きな塗り絵す

入粟野 神山 和子

白熊にも黒き熊にもならなかつた半端なパンダの隈取り愛し

睦 町 高村 光夫

残り飯の粥に米糍を混ぜあわせ五時間保温す甘酒うまし

上野町 竹澤 光子

小林 夏江選

かぬま民話めぐり

その二「がっから様」(茂呂)

「さらさらさら」
「がらがら」
その内ますますでっかい音となり、馬はおびえて動かねえ、にわとりも卵をなさなくなっちゃった。
「このでっかい音は茂呂山から聞こえてくるんだ。なんとかするべ」

昔ナ、茂呂山の麓の村人たちは、いつの頃からか、耳をつんざく音で仕事が手につかなかった。正体を確かめんと、カマヤスキを持ち、茂呂山に登って行ったと。

すると「がっから、がっから」とでかい顔の怪物が見えたと。それとカマヤスキで切りつけたが、がなり声で笑っているばかり



▲がっから様
茂呂山の頂上近くにある高さ3m周囲8m位の大きな岩。案内板もあります。
(人の顔のようにも見えませんか?)



市公式Youtube「かぬまチャンネル」では、切り絵による「鹿沼の民話」の動画を公開しています。ぜひご覧ください。



(小杉義雄「鹿沼のむかし話」より再話)

り、村人たちはほうほうの体で村に帰ってきた。次の日、田や畑は、がしやがしやに踏みつぶされてた。
もうべん、カジまんカジマンの男達が山に登った。なんとでっかい岩であったと。この岩は山の神様で、神様の怒りかもしれないと、村中でお供え物をおまつりしたと。
それからは、この岩はすっかり鳴りを潜めて、村に平和が戻ったんだと。おしまい

鹿沼民話の会



友だちとオミクロン株恐れつつマスクを外す新年宴会
古賀志町 渡辺 雪子

正月の餅ストロブの上にのせ背中丸めて膨らむを待つ
御成橋町二丁目 浅野 賀子

亡母の年齢超えて恋しき縁側に日向ぼっこはのまあるい背中
幸町二丁目 宮崎 とく子

初めてのシヨートステイに行く母を見送りなぜかホッと息吐く
西沢町 竹沢 敏子

深夜便に宗のオカリナ流れくる心にしみて吾は眠れず
上野町 楡木 和子

市民川柳
白石 洋 選

落みそや酒の肴に春を吞む

西茂呂 阿部 金司

就農の汗の結晶初出荷

酒野谷 杉山 進

リーバスのいちごプレート鮮度よし

下材木町 中島 克敏

歳は増え反比例する年賀状

塩山町 森野 静雄

年男若いトラさん甦る

上殿町 沼尾 登代

こんな日は大鍋コトコトしもつかれ

中粟野 大塚 初江

マスクして声を潜めて豆を撒く

油田町 酒井 國男

日本史の穴を大河が埋めている

板荷 島田 ふみ

ふるさと大使

eCOOの環

立地適正化計画

消防表彰

フレックシブ・アィドル

市民のひろば

健康・お知らせ

お知らせ

ごみ収集

デジタル版画・フワッピン